

平成30年度

むかわ町児童生徒における

全国学力・学習状況調査の結果（概況）

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象児童生徒

	むかわ町	北海道（公立）	全国（公立）
小学校第6学年	52	39,617	1,030,031
中学校第3学年	40	39,683	967,196

※札幌市を含む

3 調査の内容

①教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

- ・主として「知識」に関する問題（A）
- ・主として「活用」に関する問題（B）

※理科は（A）と（B）を一体的に出題

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

4 調査日時

平成30年4月17日（火）

5 概況の内容

- （1）各教科の平均正答率の状況と領域別等の状況
- （2）良い結果の出ている問題 課題のある問題とその傾向及び対策
- （3）児童質問紙・学校質問紙における本町の特徴的な項目
- （4）取組の状況と今後の取組

※上記内容における問題の傾向や課題・対応等の分析は、「全国学力・学習状況調査解説資料」「同報告書」（文部科学省・国立教育政策研究所）を参考・一部引用している。

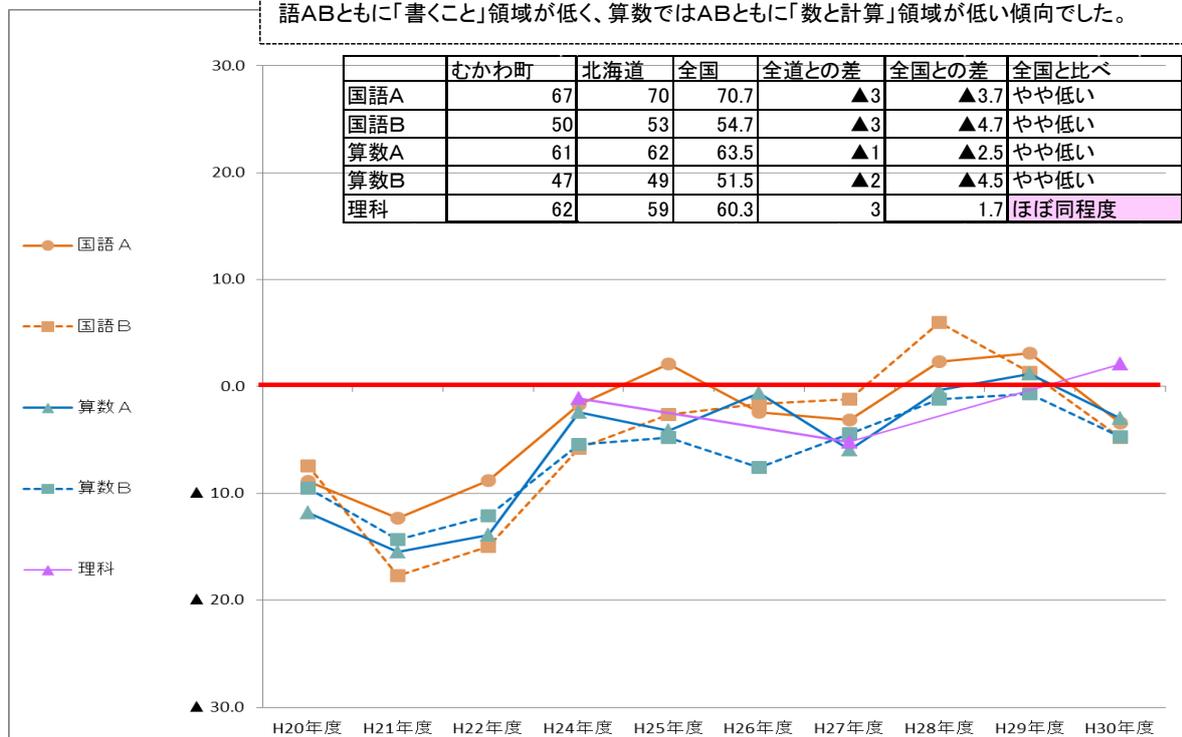
むかわ町教育委員会

11月30日

全国平均正答率との差 推移グラフ

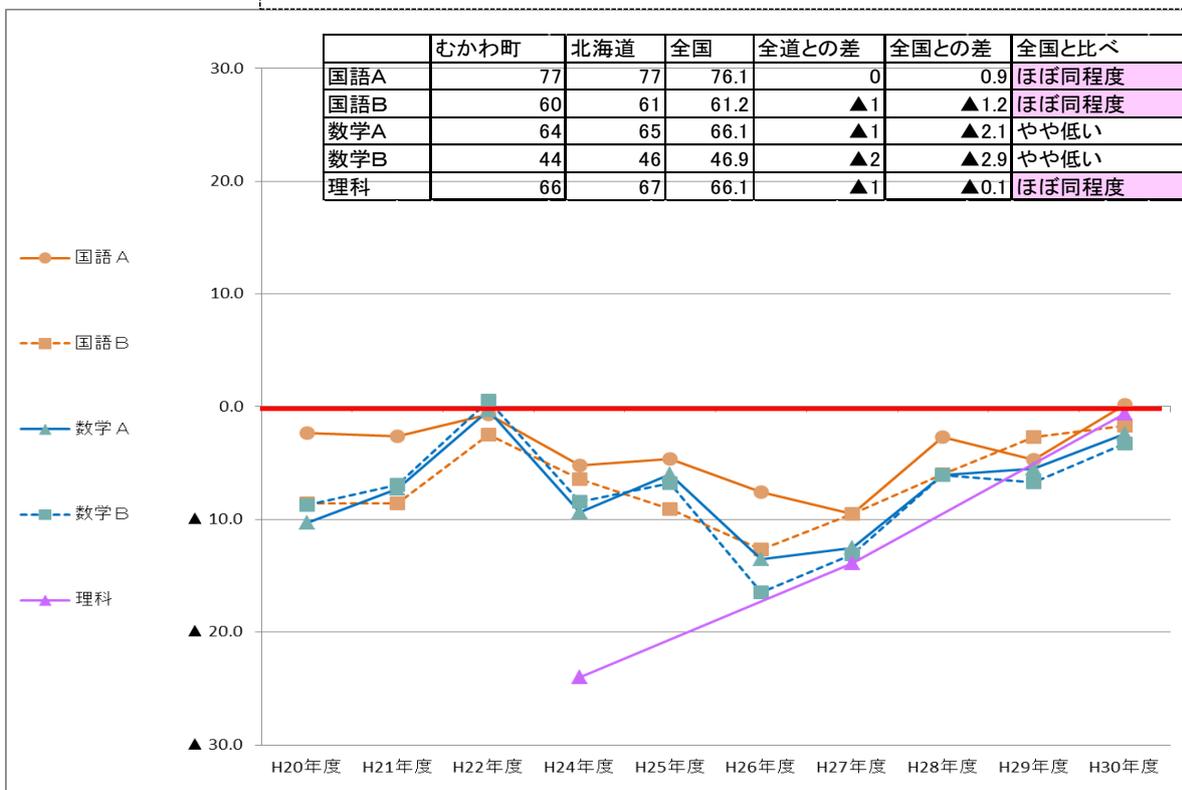
小学校

全体：理科は全国より高かったが、国語・算数については、全国と比べ「やや低い」結果でした。特に「国語Bと算数B」については、全国比5ポイント近く低い結果でした。領域別では、国語ABともに「書くこと」領域が低く、算数ではABともに「数と計算」領域が低い傾向でした。

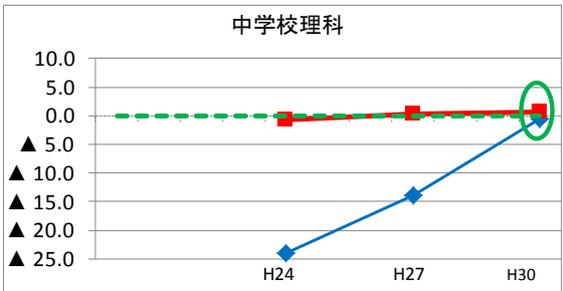
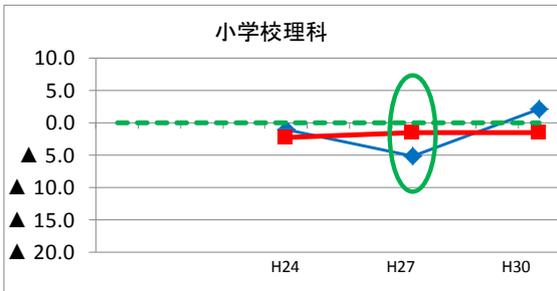
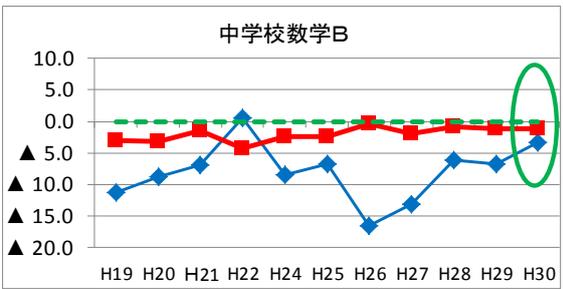
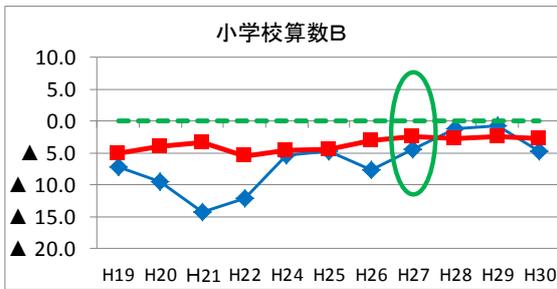
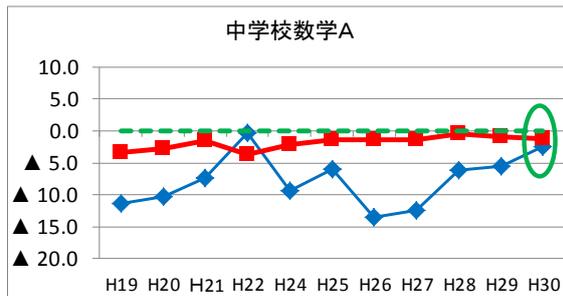
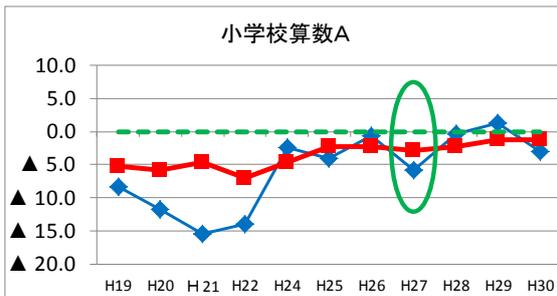
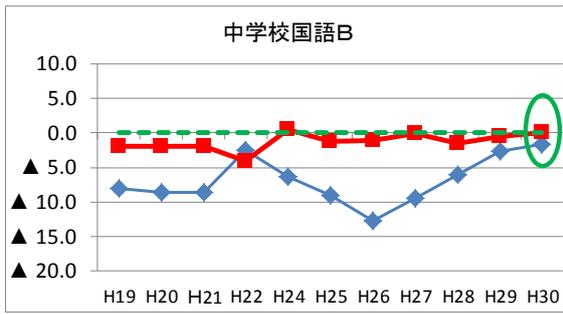
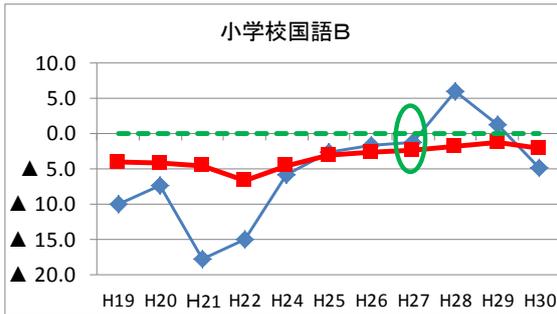
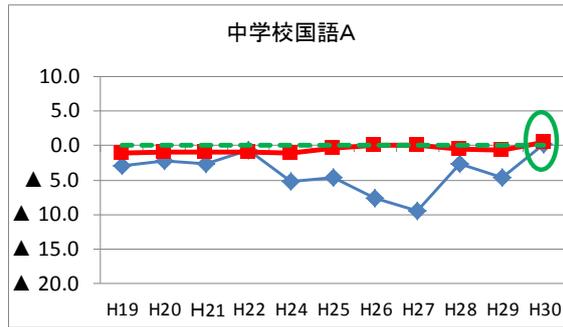
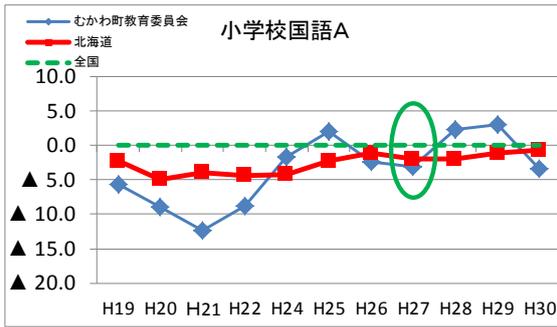


中学校

全体：平成28年度から少しずつ全国との差が縮まり、今年度は、すべてにおいて、全国比3ポイント未満であり、ほぼ同程度に近い傾向といえます。



平均正答率の推移 ～全国・全道との比較、H27とH30の比較～



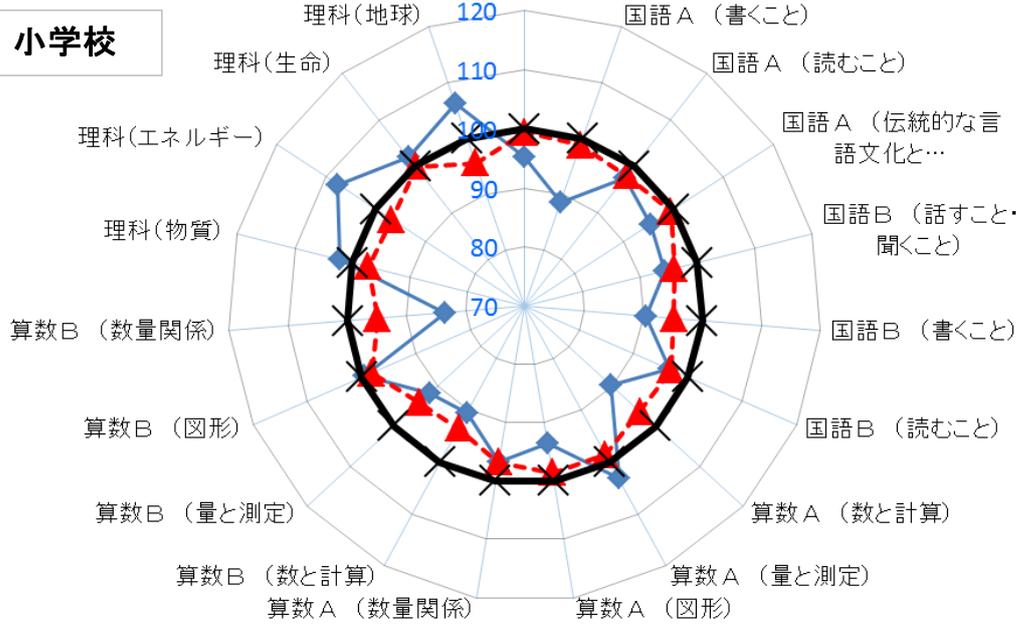
グラフ上の○は、本年度の中学校第3学年が、小学校第6学年だった平成27年度の全国平均正答率との差の推移をとらえるために表示しています。楕円の大きさは全国との差の大小を示しています。一つの傾向として、国語A・算数(数学)A・理科において、この3年間で全国との差が縮まっていることがわかります。

教科全体の概況 ～レーダーチャート図～

◆ むかわ町教育委員会
▲ 北海道(公立)
× 全国(公立)

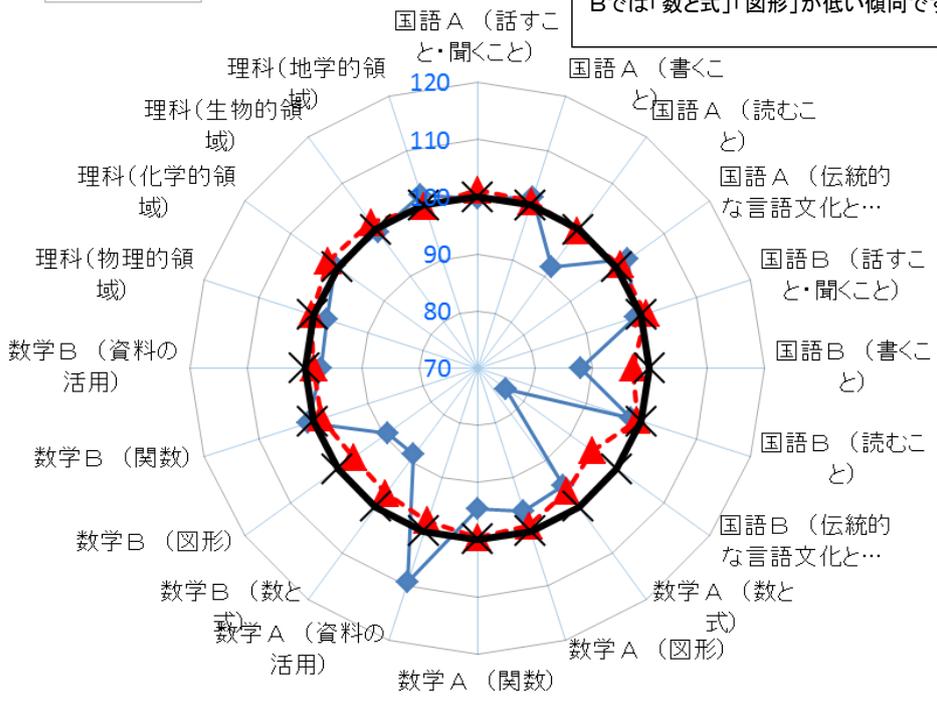
傾向
 国語: A・Bともに「書く」領域が低い傾向です。
 算数: A・Bともに「数と計算」領域が低い傾向にあり、算数Bでは「数量関係」も低い傾向です。
 理科: どの領域も全国より高い傾向です。

小学校



中学校

傾向
 国語: 国語Aでは「読むこと」、国語Bでは「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が低い傾向です。
 数学: 数学Aでは「資料の活用」が高い傾向ですが、数学Bでは「数と式」「図形」が低い傾向です。



良い結果の問題・課題のある問題

小学校（国語）

表の見方

○全国より高い：ピンク色 ○全国よりかなり低い（10ポイント以上低い）もしくは、国語A・Bの中で一番低い：黄色

国語A

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等			評価の観点				問題形式			正答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語の知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	むかわ町	全国（公立）
3	【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、【オムレツのページ】をどのように読めばよいか、適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を捉える			3・4イ						○	○			73.9
5	【春休みの出来事の一部】の中で、……部と……部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す	文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く			3・4(1)イ(キ)						○	○			35.5
7	【話を聞いている様子の一部】の□ア□イに入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する	相手や場面に応じて適切に敬語を使う			5・6(1)イ(ク)						○	○		全国比10ポイント以上低い	56.0
8イ	文の中で漢字を使う（せつ備）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う			5・6(1)ウ(ア)						○	○			82.2

国語B

2 二	【おすすめる文章】の□□□□に、むし歯を防ぐ効果について、【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れて詳しく書く	目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く			5・6ウ						○	○		○	国語Bの中で一番低い	13.5
3 二	【伝記「湯川秀樹」の一部】を読んで、【ノートの一部】C最も心がひかれた一文とその理由の文章の□□□□に入る内容を書く	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む			5・6ウ						○	○	○	○		52.3

傾向と対策

国語A 7

- ・この設問の趣旨は「相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができる」です。
- ・誤答の傾向：身内に対して尊敬語を用いるとの解答が4割に近い傾向です。
- ・対策例：様々な場の状況で敬語を使うことになれること。（話をしたり、手紙を書いたりなど） また、公の場における言葉の使い方に対する感覚を養うことも大切です。

国語B 2の二

- ・この設問の趣旨は「目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書く」です。
- ・誤答の傾向：条件を満たしていない解答が5割以上です。（保健の先生の話を取り上げていない等）
- ・対策例：「紹介する文章」「保健室の先生の話から分かったこと」のそれぞれからキーワードを見つけること。次に、キーワードを関連付けて整理し、文章を組み立てていくことが大切です。

良い結果の問題・課題のある問題

小学校（算数）

表の見方

○全国より高い：ピンク色

○全国よりかなり低い（10ポイント以上低い）もしくは、算数A・Bの中で一番低い：黄色

算数A

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式		正答率(%)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形の技能	数量や図形の知識・理解	選択式	短答式	記述式	むかわ町	全国（公立）	
2	答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ	小数の除法の意味について理解している	3A(4)ア 4A(3)イ 5A(3)ア									○	○		全国比10ポイント以上低い	39.9
3	3桁の整数どうしの大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書く	十進位取り記数法で表された数の大小について理解している	2A(1)イ									○	○		全国比10ポイント以上低い	76.4
4(2)	㊸と㊹の二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している	5B(4)ア									○	○			50.1
5(1)	角(イ)の角の大きさが、何度であるかを選ぶ	180° の角の大きさを理解している	4B(2)アイ									○	○			94.4
5(2)	分度器の目盛りを読み、 180° よりも大きい角の大きさを求める	180° や 360° を基に分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めることができる	4B(2)アイ									○	○			58.5
9	示された事柄が両方当てはまるグラフを選ぶ	折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる	4D(1)ア 4D(4)イ									○	○			63.6

算数B

1(2)	一つの点の周りに集まった角の大きさの和が 360° になっていることを、着目した図形とその角の大きさを基に書く	図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が 360° になっていることを記述できる	4B(2)アイ	3C(1)ア 4C(1)イ 5C(1)アイウ									○			48.2
3(1)	メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く	メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる			3D(3)ア								○		算数Bの中で一番低い	20.7
4(2)	横に並んでいる七つの数について、示された表現方法を適用して書く	示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述できる	2A(2)ア 2A(3)アウ 4A(3)イ										○			59.5

傾向と対策

算数A 2と3

Aの2

- ・この設問の趣旨は「小数の除法の意味について理解しているかどうか」です。
- ・誤答の傾向: 「1と4と解答」している割合が3割以上です。(「1」は乗法を用いる)
- ・対策例:

問題場面を図や数直線などに表し、数量の関係を的確に捉えること。その際、乗法の場面と除法の場面をテープ図と数直線を合わせた図で比較できるようにすること。また、情報の問題場面を複数提示することも考えられます。

Aの3

- ・この設問の趣旨は「十進位取り記数法で表された数の大小についての理解」です。
- ・誤答の傾向: 一の位の数字に着目せず、「6」を取り上げないかた誤答が3割以上です。
- ・対策例:

「0～9までの数字カード」のうち、3枚のカードを用いて3桁の数をつくる活動。その際、一番大きな数や一番小さな数、ある数に一番近い数など、条件を満たす様々な数をつくることなどが考えられます。

算数B 3(1)

- ・この設問の趣旨は「メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを言葉や数を用いて記述できる」です。
- ・誤答の傾向: 「メモ1」だけ着目した解答が2割近く、誤答例にはない解答が5割近くです。
- ・対策例: 「グラフのどの部分に着目して情報を読み取ったのかを話し合うことが考えられます。

良い結果の問題・課題のある問題 小学校（理科）

表の見方

○全国より高い：ピンク色 ○全国よりかなり低い（10ポイント以上低い）もしくは、理科の中で一番低い：黄色

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	枠組み 主として「活用」に関する問題	学習指導要領の区分等				評価の観点				問題形式			正答率(%)	
				A区分		B区分		科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	むかわ町	全国（公立）	
				物質	エネルギー	生命	地球									
1 (1)	野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ	安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる	○		4B (2)ア		○			○						82.1
1 (2)	鳥の翼と人の腕のつくりについてのまとめから、どのような視点を基にまとめた内容なのかを選ぶ	調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できる	○		4B (1)ア		○			○						76.2
1 (3)	腕を曲げることでできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く	骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している	○		4B (1)イ					○						79.4
2 (2)	流れる水の働きによる土地の侵食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面上に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶ	土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる	○			5B (3)ア	○				○					55.4
2 (3)	一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く	より妥当な考えをつくり出すために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる	○			5B (3)ウ	○					○		理科の中で一番低い		20.1
2 (4)	上流側の雲の様子や雨の降っている所と下流側の川の水位の変化から、上流側の天気と下流側の水位の関係について言えることを選ぶ	より妥当な考えをつくり出すために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できる	○			5B (3)ウ (4)アイ	○				○					59.8
3 (2)	回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛りを選ぶ	電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる	○		4A (3)ア		○				○					47.7
3 (4)	目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の1日の位置の変化に合わせた箱の中の光電池の適切な位置や向きを選ぶ	太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる	○		4A (3)イ	3B (3)ア	○				○			全国比10以上高い		41.9
4 (1)	ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気づき、適切に操作する方法を選ぶ	ろ過の適切な操作方法を身に付けている	○		5A (1)イ			○			○					71.1
4 (2)	海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ	より妥当な考えをつくり出すために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる	○		5A (1)イウ			○			○					89.4
4 (4)	食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導き出す結論を書く	実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できる	○		4A (2)ウ 5A (1)イウ	4B (3)イ	○					○				35.9

傾向と対策

理科 2(3)

・この設問の趣旨は「より妥当な考えを作り出すため、実験結果をもとに分析して考察し、その内容を記述できる」です。
 ・誤答の傾向：「1」を解答した割合は4割近いが、選択した理由まで適切に記述できた割合は2割に満たない結果でした。
 ・対策例：自分の予想にとらわれずに事実と解釈の両方を表現することで、より適切な説明になることを捉えられるようにすること。事実を明確にする板書を工夫したり、事実(条件と結果)と、その解釈(結果から考えられること)の両方を整理して説明する学習活動を取り入れたりすることが考えられます。

理科 3(4)

・この設問の趣旨は「太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できるか」です。
 ・誤答の傾向：正答率では、全国が4割程度に比べ、本町は5割以上の正答率でした。「1」と誤答した割合が少ないことが高い正答率につながっている傾向です。

良い結果の問題・課題のある問題 中学校（国語）

○全国より高い：ピンク色 ○全国よりかなり低い(10ポイント以上低い)もしくは、国語Aの中で一番低い：黄色

国語A

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的言語文化と国語の特質	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語の知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	むかわ町	全国(公立)
2二	二つの意見の内容を一文で書き加える	伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く		2ウ								○				64.0
3二	父と保吉の言動についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する			1ウ							○	○			82.8
4二	段落の内容を入れ替えて書き直す理由として適切なものを選択する	段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする		2エ								○	○			79.4
5二	新聞紙の製造工程の一部を言い表したものとして適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える			1イ							○	○		全国比10ポイント以上低い	59.5
6一	話合いの際のメモのとり方の説明として適切なものを選択する	話合いの話題や方向を捉える		1オ								○	○			72.4
6二	話合いの中で確認しなければならないことについての司会としての発言を書く	話合いの話題や方向を捉えて的確に話す		1オ								○	○			65.8
7一	場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する(ハナイカダ)	語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える				1(イ) 1(ロ)						○	○			87.3
8一1	漢字を書く(紙をひもで く ねる)					2(イ) 2(ロ)						○	○			79.0
8一2	漢字を書く(舞台の マク が上がる)	文脈に即して漢字を正しく書く				2(イ) 2(ロ)						○	○		全国比10ポイント以上高い	72.9
8一3	漢字を書く(先制点を コ ルす)					2(イ) 2(ロ)						○	○			71.4
8二1	漢字を読む(模型を作る)					2(イ) 2(ロ)						○	○			95.7
8二3	漢字を読む(技を こ ぐ)	文脈に即して漢字を正しく読む				2(イ) 2(ロ)						○	○		100.0	98.1
8三1	適切な語句を選択する(魚の中には群れを作って泳ぐ 習性 をもつものがある)					2(イ) 1(ロ)						○	○			91.0
8三2	適切な敬語を選択する(先生が私たちに大切なことを お しや					2(イ) 1(ロ)						○	○			88.0
8三3	適切な語句を選択する(彼は せ きを切ったように話し始めた)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。				1(イ) 1(ロ)						○	○		国語Aの中で一番低い	29.2
8三4	適切な語句を選択する(意見の折り合いを つ ける)					1(イ) 1(ロ)						○	○			61.8
8三5	適切な語句を選択する(わたしは健康になったのは、 ひ とえに母のおかげです)					1(イ) 1(ロ)						○	○			65.4
8四1	「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する	慣用語の意味を理解する				3・4 (1)ア (1)イ						○	○			94.7
8四2	「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く				2(イ) 1(ロ)						○	○		全国比20ポイント以上高い	22.3
8六3	『轉非子』の中で矛盾していることの説明として適切なものを選択する	古典に表れたものの見方や考え方を理解する				2(イ) ア(ロ)						○	○			81.3

傾向と対策

国語A 8三(エ)

・この設問の趣旨は「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができる」です。
 ・誤答の傾向・・・「4 くうを切る」と「1 水気を切る」と七割以上が解答しています。
 ・対策例・・・気になった語句をノートに書き留め、その語句を使った短文づくりをしたり、話や文章の中で使ったりすること。文学的な文章の学習で、登場人物の人物像などを四字熟語や慣用語を用いて表すことなどが考えられます。

国語A 8四(2)

・この設問の趣旨は「目的に応じて文の成分の準備や照応、構成を考えて適切な文を書くことができる」です。
 ・半数近くの生徒が、条件を満たし、正答を記述しています。

良い結果の問題・課題のある問題

中学校（国語）

○全国より高い:ピンク色 ○全国よりかなり低い(10ポイント以上低い)もしくは、国語Bの中で一番低い:黄色

国語B

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的言語文化と国語の特質	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語の知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	むかわ町	全国(公立)
1ニ	複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ			1 エ					○		○				64.3
1三	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く		2 ウ	1 イ		○	○	○				○		全国より高いが、国語Bの中では一番低い	13.3
2一	二人の質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	1 エ							○		○				86.8
3三	話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く	相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く	1 ウ	1 イ	2 (1) ア (2) イ (3) ウ (4)		○	○	○	○		○		全国比10ポイント以上低い	49.2	

傾向と対策

国語B 3の三

- ・この設問の趣旨は「相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くことができる」です。
- ・誤答の傾向・・・「話の展開を適切に取り上げて書く」という条件1を満たしていない解答が五割近くでした。
- ・対策例・・・自分が選んだ作品のあらすじをまとめ、互いに伝え合い、内容を適切に表現することができているかどうかを確認し合う学習などが考えられます。

良い結果の問題・課題のある問題

中学校（数学）

○全国より高い：ピンク色 ○全国よりかなり低い(10ポイント以上低い)もしくは、数学Aの中で一番低い：黄色

数学A

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点		問題形式			正答率(%)			
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方の	数学的な技能	数量や図形の知識・理解	選択式	短答式	記述式	むかわ町	全国(公立)
1 (1)	数直線上の点が表す負の整数の値を読み取る	数直線上に示された負の整数を読み取ることができる	1(1) ア						○		○				94.6
1 (2)	絶対値が6である数を書く	絶対値の意味を理解している	1(1) ア						○		○				69.0
1 (4)	ある日の最低気温がその前日の最低気温からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している	1(1) 7.1						○	○					54.2
2 (2)	$6a^2b \div 3a$ を計算する	単項式どうしの除法の計算ができる	2(1) ア						○		○				91.0
3 (1)	一元一次方程式 $6x - 3 = 9$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	方程式を解く場面における等式の性質の用い方について理解している	1(3) イ						○	○					64.0
3 (4)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることことができる	2(2) ウ						○		○				75.2
5 (4)	底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係について、正しいものを選ぶ	四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の $1/3$ であることを理解している	1(2) ウ						○	○					57.6
6 (1)	三角形の外角を表す式を選ぶ	三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解している	2(1) ア						○	○					71.4
6 (2)	五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを 90° に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選ぶ	多角形の内角の和の性質を理解している	2(1) イ						○						75.7
7 (2)	長方形で成り立ち、ひし形でも成り立つことを選ぶ	長方形やひし形が平行四辺形の特別な形であることを理解している	2(2) ウ						○	○					78.2
9 (1)	比例 $y = 5x$ について、正しい記述を選ぶ	比例 $y = ax$ における比例定数 a の意味を理解している	1(1) イ						○						65.5
9 (2)	比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める	与えられた比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる	1(1) エ						○		○				55.0
11 (2)	一次関数 $y = -2x + 6$ が表すグラフを選ぶ	一次関数 $y = ax + b$ について、 a と b の値とグラフの特徴を関連付けて理解している	2(1) イ						○	○					56.3
12	歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ	一次関数の意味を理解している	2(1) ア						○	○					36.4
14 (1)	生徒35人の靴をサイズごとに調べ、最頻値が25.5cmだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ	最頻値は、資料の中で最も多く出てくる値であることを理解している	1(1) ア						○	○					68.4
14 (2)	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられた資料から中央値を求めることができる	1(1) ア						○		○				74.0
15 (1)	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している	2(1) ア						○	○					40.2

傾向と対策

数学A 3(1)(4)

・設問の趣旨は (1)「等式の性質の理解」、(4)「必要な数量に着目して式をつくることことができる」です。
 ・誤答の傾向・・・(1)では、式の変形の確認不足による誤り、(4)では、着目する数量の選択の誤りや、式づくりの間違いがありました。
 ・対策例・・・等式の性質を確認する場面を設定、方程式を利用した問題解決場面における数量の着目・整理などが考えられます。

数学A 9(1)(2)

・設問の趣旨は(1)比例定数 a の意味の理解。(2) x の変域に対応する y の変域を求めることです。
 ・誤答の傾向:(1)多い誤答は「イ」「ウ」、(2)では誤答例以外が3割近くと多い傾向です。
 ・対策例:(1)では、 y が x に比例するとき、 x と y の関係を表に表し、どのような関係が調べるなど、(2)では、グラフを用いて変域を視覚的に捉える活動などが考えられます。

数学A 6(1)

・設問の趣旨は「三角形の外角と、それと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解」です。
 ・誤答の傾向:一番多い誤答は「 $180^\circ - (\angle b - \angle c)$ 」です。
 ・対策例:様々な形状の三角形をかいて、その内角を外角の大きさを実際に測る活動などが考えられます。

数学A 11(2)

・設問の趣旨は「一次関数について、 a と b の値とグラフの特徴を関連付けて理解」です。
 ・解答の傾向:全国と比べ、正答率が20ポイント近く高い傾向です。

数学A 14(1)

・設問の趣旨は「最頻値は、資料の中で最も多く出てくる値であることを理解」です。
 ・解答の傾向:全国と比べ、正答率が15ポイント近く高い傾向です。

良い結果の問題・課題のある問題

中学校（数学）

○全国より高い：ピンク色 ○全国よりかなり低い（10ポイント以上低い）もしくは、数学Bの中で一番低い：黄色

数学B

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式		正答率(%)					
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方の技能	数学的な技能	数量や図形の知識・理解	選択式	短答式	記述式	むかわ町	全国（公立）			
1 (1)	全校生徒300人に対する上位4曲を回答した生徒数の割合を求め	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる				小5 数量 (3)1(1)イ							○*		○		55.7	
1 (2)	放送計画で、1日目がA、2日目がBになる確率を求め	与えられた情報を分類整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉えることができる				2(1) 7.4								○		○	全国比10ポイント以上低い	43.9
1 (3)	全校よりも1年生の回答用紙によるくじ引きの方が曲Fが選ばれやすいこと理由を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる				2(1) イ								○		○		36.2
2 (2)	はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる	2(1) 4.9											○		○	全国比10ポイント以上低い	37.5
3 (2)	グラフから、列車のすれ違いが起こる地点のA駅からの道のりを求め	グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる				2(1) 4.1								○		○		77.7
3 (3)	A駅からの道のりが6kmの地点において、列車Aが通ってから列車Bが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる				2(1) 4.1								○		○		13.2
5 (1)	S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる				小5 数量 (3)								○*		○		16.0
5 (2)	通常料金をaとしたときの団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する	里奈さんの計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明することができる	2(1) イ											○		○	数学Bの中で一番低い	10.4

傾向と対策

数学B 1(2)

・設問の趣旨は、「与えられた情報を分類整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉えることができる」です。
 ・誤答の傾向：誤答で多い順は、「24分の1」「4分の1」で、その中には、4曲の中から選ぶことだけに着目した間違いが考えられます。
 ・対策例：起こり得る場合を順序よく整理し正しく数え上げる場面を設定するなど考えられます。

数学B 2(2)

・設問の趣旨は、「事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる」です。
 ・誤答の傾向：誤答では、誤答例以外の解答が4割近くであり、無回答率も15%でした。その中には、 $4n-12$ に計算できるが、 $4(n-3)$ と変形することができなかったことも考えられます。
 ・対策例：本設問の場合、 $4n-12$ にとどまっている場合を取り上げ、 $4 \times (\text{整数})$ の形にすればよいという見通しにそって考えさせるなどが考えられます。

数学B 5(2)

・設問の趣旨は、「数学的な結果を事象に即して解釈することを通して、成り立つ事柄を判断し、その理由を数学的な表現を用いて説明することができる」です。
 ・誤答の傾向：この設問の正答率は全国において「10%程度」とどまり、本町においても最も低い正答率でした。
 ・対策例：日常的な事象の考察において、表、式、グラフなどから得られた数学的な結果を事象に即して解釈することを大切にすること。そして、数学的な表現を用いて簡潔に分かりやすく説明する場面を大切にすることなどが考えられます。

良い結果の問題・課題のある問題

中学校（理科）

○全国より高い:ピンク色 ○全国よりかなり低い(10ポイント以上低い)もしくは、理科の中で一番低い:黄色

理科

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	枠組み 主として「知識」に関する問題	学習指導要領の分野等			評価の観点			問題形式		正答率(%)				
				第1分野	第2分野	物理的領域	化学的領域	生物的領域	自然科学への関心・意欲・態度	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	むかわ町	全国(公立)
1 (2)	光の反射を利用した「テレプロンプター」のモデルを作って科学的に探究する場面において、光の直進や反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用することができるかどうかをみる	テレプロンプターのモデルの光の道筋を検討して改善し、適切な光の道筋を説明することができる	○	(1) ア (7)					○				○	○	全国比10ポイント以上低い	73.7
2 (4)	理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に關係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみる	1つの要因を変えたとその他にも変わる可能性のある要因を指摘できる	○			(3) ウ (4)			○							61.3
3 (2)	コンピュータを使ったシミュレーションで台風の進路や風向を科学的に探究する場面において、日本の天気の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	太平洋高気圧(小笠原気団)の特徴についての知識を身に付けている	○			(4) ウ (7)				○					全国比10ポイント以上高い	67.3
4 (1)	図書便りに紹介されていたファラデーの「ロウソクの科学」を読んで、ガスバーナーを使った燃焼を科学的に探究する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	ガスバーナーの空気の量を調節する場所を指摘できる	○			(2) ア (7)			○							73.4
4 (3)	図書便りに紹介されていたファラデーの「ロウソクの科学」を読んで、ガスバーナーを使った燃焼を科学的に探究する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる	○			(4) イ (7)			○							49.4
5 (2)	「運転中に運転士に話しかけるとブレーキを踏むのが遅れるのではないか」という予想を科学的に探究する場面において、刺激と反応についての知識と自然の事物・現象を実験の装置や操作に対応させたモデル実験の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	反応の時間を測定する装置や操作を刺激と反応に対応させた実験を計画できる	○			(3) イ (4)			○							62.8
6 (2)	自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに疑問をもって科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	実験の結果を示した表から電流の値を読み取ることができる	○			(3) ア (7)			○							77.2
6 (3)	自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに疑問をもって科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	豆電球と豆電球型のLEDの点灯の様子と電力との関係を指摘できる	○			(3) ア (9)			○							91.4
7 (1)		地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身に付けている	○			(2) ア (4)			○							55.1
7 (2)	緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に探究する場面において、地震の揺れの伝わり方や光と音の伝わり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	緊急地震速報を受け取ってからS波による揺れが始まるまでの時間が最も長い観測地点を指摘できる	○			(2) ア (4)			○							78.5
7 (3)		初期微動継続時間の長さや震源からの距離の知識と音の速さに関する知識を活用できる	○			(1) ア (9)		(2) ア (4)	○							94.4
8 (3)	火を使わないで発熱する商品の仕組みを科学的に探究して実験ノートにまとめる場面において、化学変化と熱についての知識と問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる また、探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題をいだし探究を深めようとしているかどうかをみる	探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見いだし探究を深めようとしている アルミニウムは水の温度変化に關係していることについての新たな問題を見いだすことができる	○			(4) イ (9)			○							74.0
9 (2)	部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる	○			(4) ア (7)			○						理科Bの中で一番低い	19.4

傾向と対策

理科 1(2)

・設問の趣旨は、「テレプロンプターのモデルの光の道筋を検討して改善し、適切な光の道筋を説明することができる」です。
 ・誤答の傾向:最も多い誤答は、全国と同様で「3」でした。
 ・対策例:観察・実験から得られた情報と習得した知識・技能とを活用して、考察を検討して改善できるようにすることを大切にすること。その際、個人の考察をグループで検討して改善するなどの活動も大切にすることが考えられます。

理科 3(2)

・設問の趣旨は「太平洋高気圧(小笠原気団)の特徴についての知識を身に付ける」です。
 ・解答の傾向:全国と比べ、正答率が10ポイント以上高く、無解答も0でした。

理科 9(2)

・設問の趣旨は、「植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる」です。
 ・誤答の傾向:この設問の正答率は全国において「20%程度」にとどまり、本町においても理科の中で最も低い正答率です。
 ・対策例:はじめに「変化すること」と「原因として考えられる要因」を全て挙げ、それらの妥当性を検討すること。次にそれらの要因を「変える条件」「変えない条件」と整理して実験を計画的に進めるなどが考えられます。普段から、自然の事物・現象や日常生活で目にする事象を多面的な視点に立って考えることが大切です。

児童質問紙における本町の特徴的な事項（小学校）

番号	質問事項	全国と比べ	全国
1	自分には、よいところがあると思いますか → 当てはまる、どちらかといえば当てはまるの合計	やや低いが、過去と比べると一番高い。	84%
4	学校のきまりを守っていますか → 当てはまる どちらかといえば、当てはまる	やや高い	89.5%
7	朝食を毎日食べていますか → している、どちらかといえばしているの合計	15%以上低く、過去と比べても低い。	94.5%
10	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか → している どちらかといえばしている	100%	67.9%
12	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか → している どちらかといえばしている	やや高い	62.6%
14	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） → 1時間以上	やや高く、過去と比べても一番高い。	66.2%

番号	質問事項	全国と比べ	全国
15	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) → 10分より少ない 全く読まない。	10%以上低い	33.6%
<p> <input type="checkbox"/> 1. 2時間以上 <input type="checkbox"/> 2. 1時間以上、2時間より少ない <input type="checkbox"/> 3. 30分以上、1時間より少ない <input type="checkbox"/> 4. 10分以上、30分より少ない <input type="checkbox"/> 5. 10分より少ない <input type="checkbox"/> 6. 全くしない <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無回答 </p>			
20	今住んでいる地域の行事に参加していますか → 当てはまる、どちらかという当てはまる	10%以上高い。	62.7%
<p> <input type="checkbox"/> 1. 当てはまる <input type="checkbox"/> 2. どちらかといえば、当てはまる <input type="checkbox"/> 3. どちらかといえば、当てはまらない <input type="checkbox"/> 4. 当てはまらない <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無回答 </p>			
27	算数の勉強は好きですか → 当てはまる、どちらかという当てはまる	やや低い。	64%
<p> <input type="checkbox"/> 1. 当てはまる <input type="checkbox"/> 2. どちらかといえば、当てはまる <input type="checkbox"/> 3. どちらかといえば、当てはまらない <input type="checkbox"/> 4. 当てはまらない <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無回答 </p>			
32	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか → 当てはまる、どちらかという当てはまる	15%以上低く、過去と比べても低い。	64.4%
<p> <input type="checkbox"/> 1. 当てはまる <input type="checkbox"/> 2. どちらかといえば、当てはまる <input type="checkbox"/> 3. どちらかといえば、当てはまらない <input type="checkbox"/> 4. 当てはまらない <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無回答 </p>			

児童質問紙から顕著な傾向

○家庭学習について、「自分で計画を立てる」「予習・復習をする」「1時間以上学習」の項目で全国より高い傾向で、特に、「家庭で1時間以上学習する」児童の割合は年々増加し、今年度が一番高くなっています。

○地域への参加の割合は全国より高く、地域との結びつきがうかがわれます。

▲学校以外での読書の時間は、「10分より少ない。全く読まない」の合計の割合は、40%以上であり、読書については、本町の課題の一つです。

生徒質問紙における特徴的な事項（中学校）

番号	質問事項	全国と比べ	全国
1	自分には、よいところがあると思いますか → 当てはまる、どちらかといえば当てはまるの合計	やや高い	71%
<div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> ■1.当てはまる ■2.どちらかといえば、当てはまる ■3.どちらかといえば、当てはまらない ■4.当てはまらない ■その他 □無回答 </div>			
4	学校の規則を守っていますか → 当てはまる どちらかといえば、当てはまる	やや高い	95.1%
7	朝食を毎日食べていますか → している どちらかといえば、している。	やや低い	91.9%
<div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> ■1.している ■2.どちらかといえば、している ■3.あまりしていない ■4.全くしていない ■その他 □無回答 </div>			
10	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか → している どちらかといえばしている	やや低い	52.1%
12	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか → している どちらかといえばしている	ほぼ同じ	55.0%
14	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） → 1時間以上	全国のほぼ半分という低い割合である	70.6%
	→ 2時間以上	全国のほぼ6分の1という低い割合である。	36.4%
<div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> ■1.3時間以上 ■2.2時間以上、3時間より少ない ■3.1時間以上、2時間より少ない </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> ■4.30分以上、1時間より少ない ■5.30分より少ない ■6.全くしない </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> ■その他 □無回答 </div>			

番号	質問事項	全国と比べ	全国
15	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) → 10分以下。全く読まない。	やや低い	46.4%
<p>■1. 2時間以上 ■2. 1時間以上、2時間より少ない ■3. 30分以上、1時間より少ない ■4. 10分以上、30分より少ない ■5. 10分より少ない ■6. 全くしない ■その他 □無回答</p>			
20	今住んでいる地域の行事に参加していますか → 当てはまる どちらかという当てはまる	10%以上高い	45.6%
<p>■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない ■その他 □無回答</p>			
27	数学の勉強は好きですか → 当てはまる、どちらかという当てはまる	15%以上低い	53.9%
<p>■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない ■その他 □無回答</p>			
32	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか → 当てはまる、どちらかという当てはまる	10%以上低い	38.7%
<p>■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない ■その他 □無回答</p>			
39	理科の勉強は大切だと思いますか → 当てはまる どちらかといえば、当てはまる	15%以上高い	70.6%

生徒質問紙から顕著な傾向

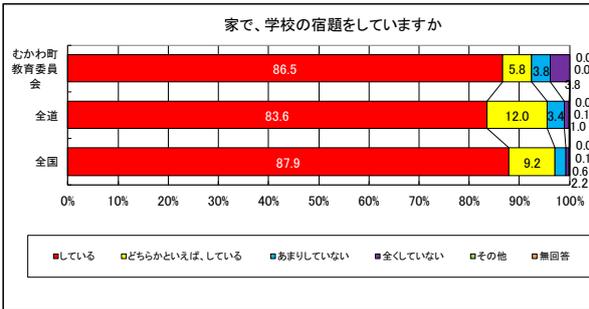
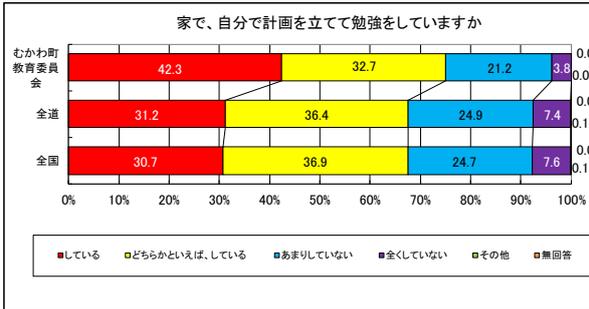
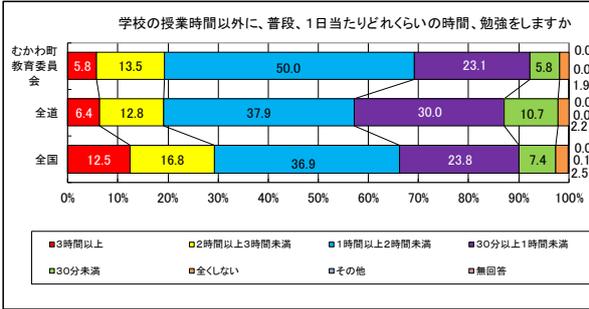
○「自分には、よいところがある」(自尊心)では、昨年同様、全国より高い傾向にあります。

○小学生同様、地域への参加の割合は全国より高く、地域との結びつきがうかがわれます。

▲家庭学習では、「1時間以上」「2時間以上」取り組んでいる割合が、全国と比べ低い傾向です。しかし、予習・復習の割合は、全国とほぼ同様の傾向です。

家庭学習

<児童質問紙>

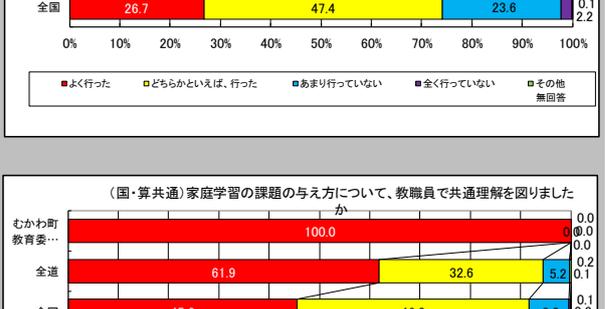
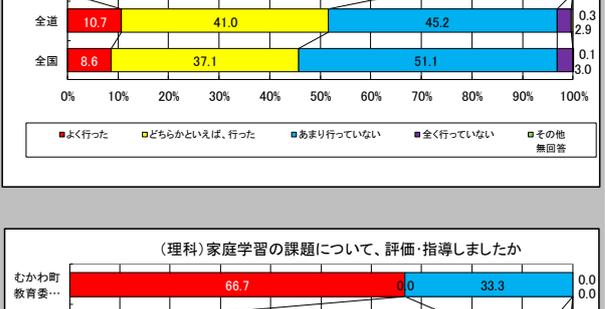
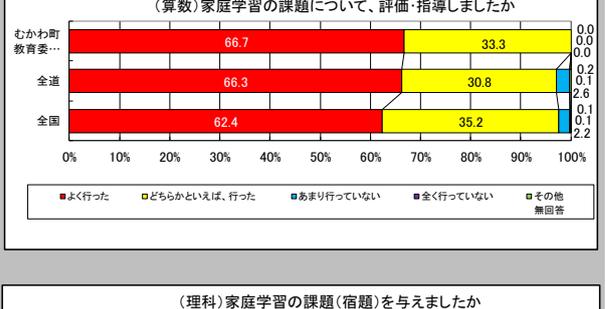
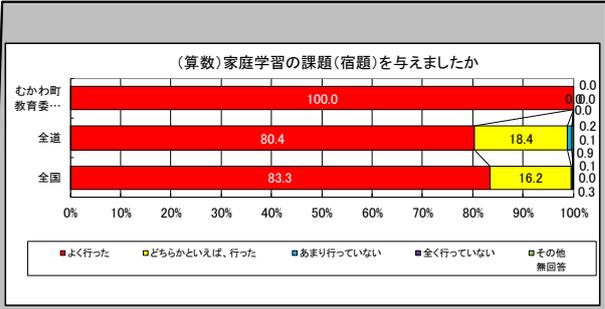


【考察】

○児童質問紙の中で、「家庭での学習時間が30分以上2時間未満」が約73%回答し、全道・全国より高い。また、「家で、自分で計画を立てて勉強している」は40%以上であり、この項目も全道・全国より高い。

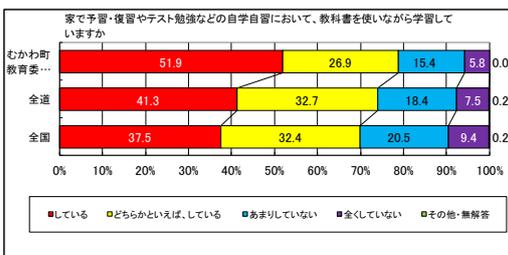
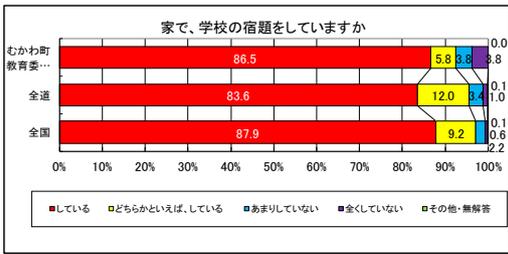
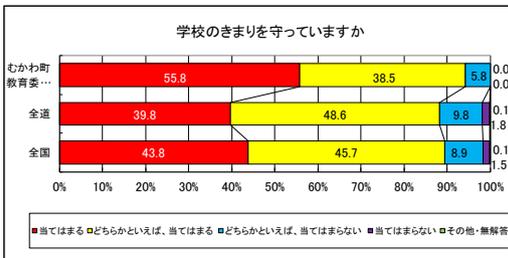
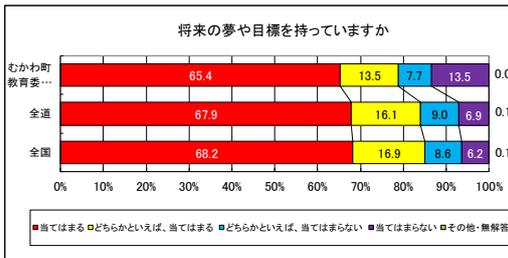
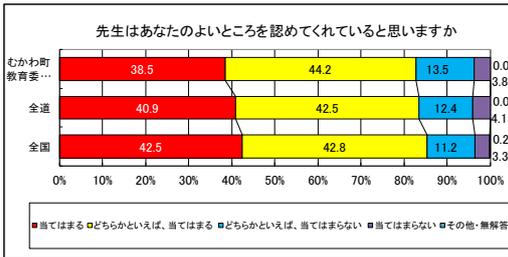
○上記の家庭学習における意識の高さは、学校質問紙における「(算数科)家庭学習の課題(宿題)を与えた」が100%、「(国・算共通)家庭学習の与え方について、教職員で共通理解を図った」が100%という回答とつながっていると考えられる。

<学校質問紙>

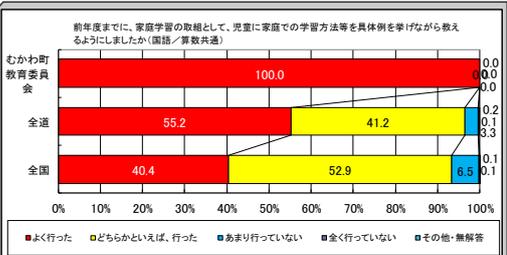
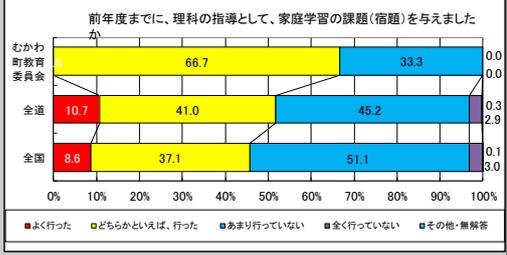
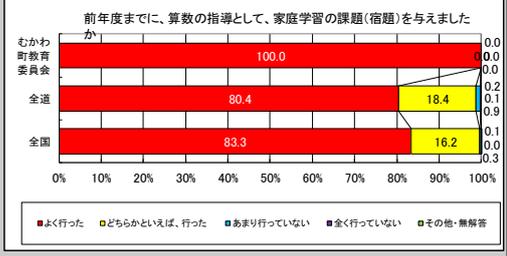
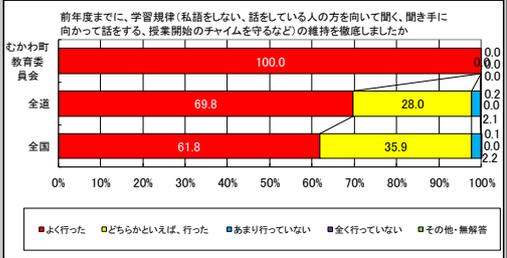
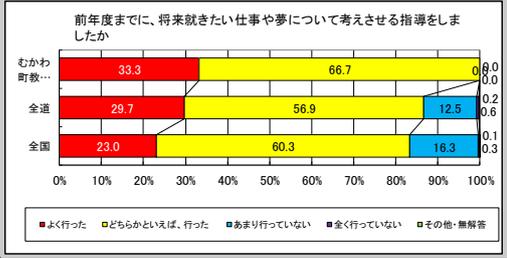
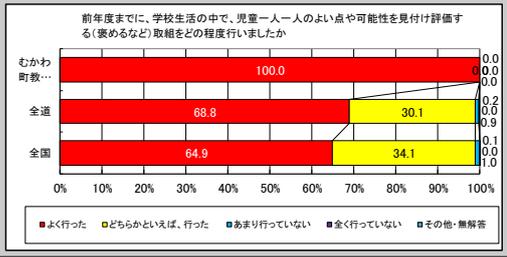


学習指導等

<児童質問紙>



<学校質問紙>

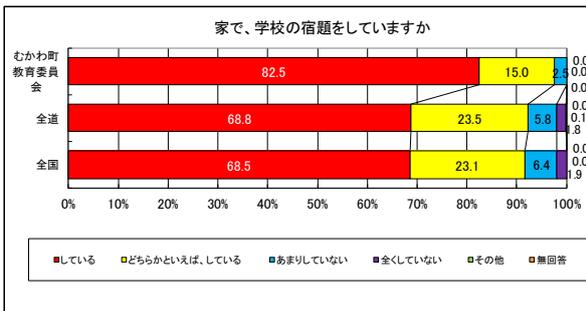
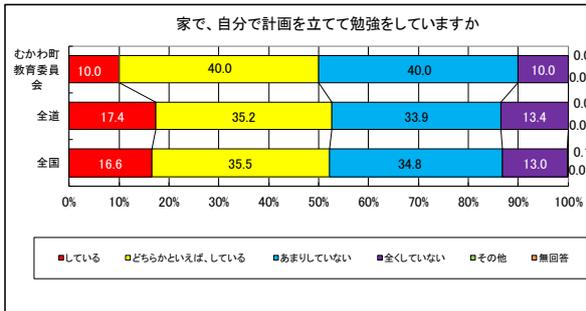
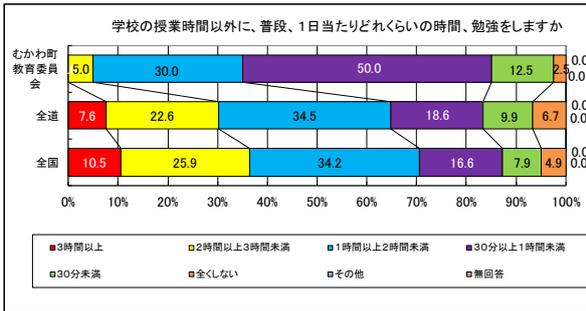


【考察】

○学校質問紙において、「学習規律の維持の徹底」で100%の回答であり、その高さが、児童質問紙における「学校もきまりを守っている」に約56%と回答し、全国よりも10%以上高い回答につながっていると考えられる。
 ○児童質問紙の「自学学習において教科書を使いながら学習」の回答が全国よりも約15%も高いことは、学校における「家庭学習の取組を具体例をあげながら教える」という取組の充実につながっていると考えられる。

家庭学習

<生徒質問紙>

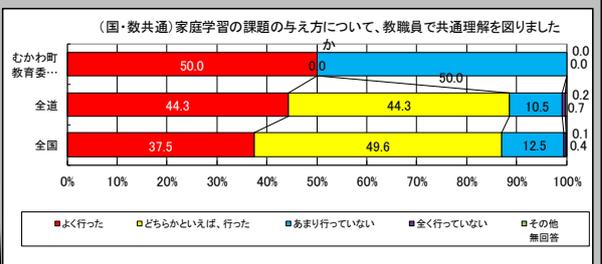
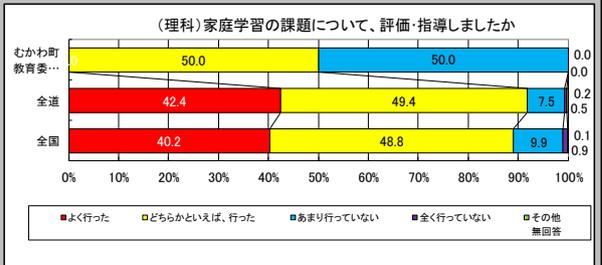
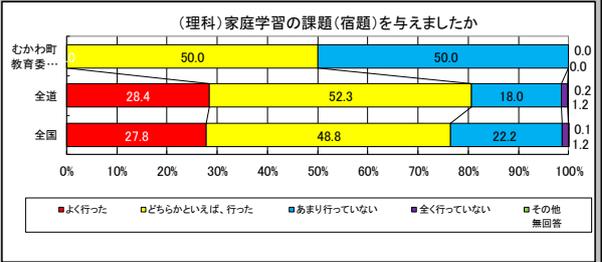
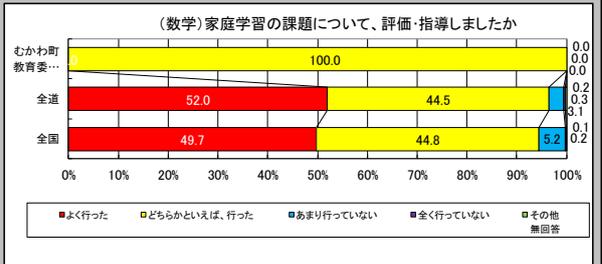
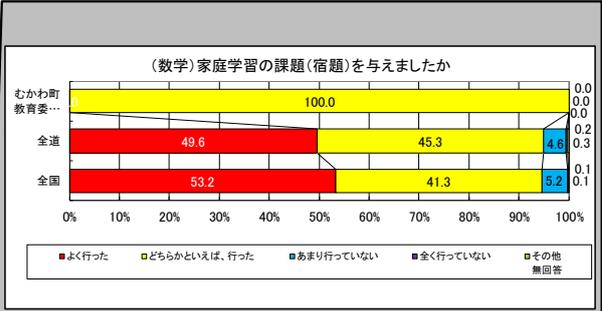


【考察】

○生徒質問紙において、家庭での学習時間では、「30分以上1時間未満」が多く、「2時間以上」が全道・全国に比べ、とても低い。

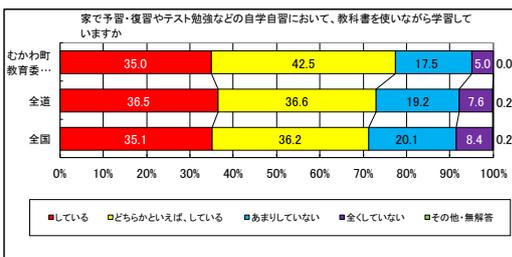
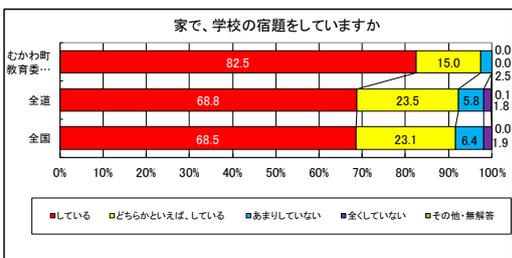
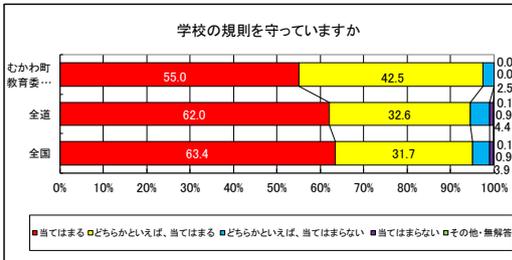
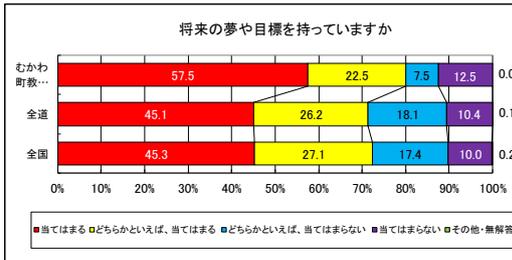
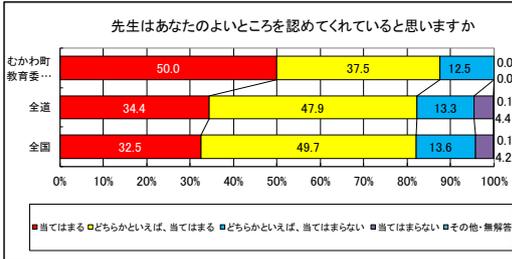
○生徒質問紙において、「家で、学校の宿題をしているか」は、全道・全国より10%以上高い。

<学校質問紙>

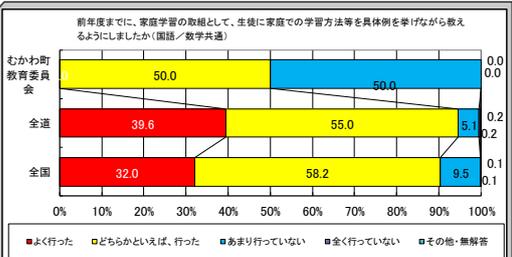
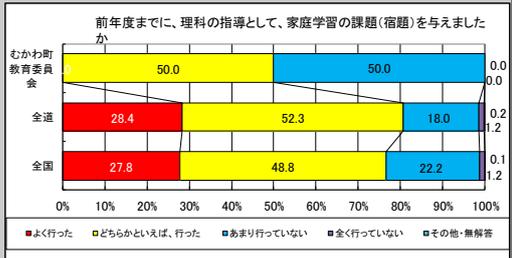
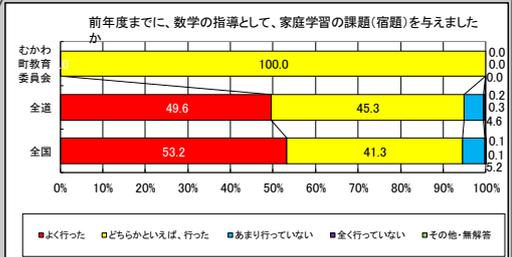
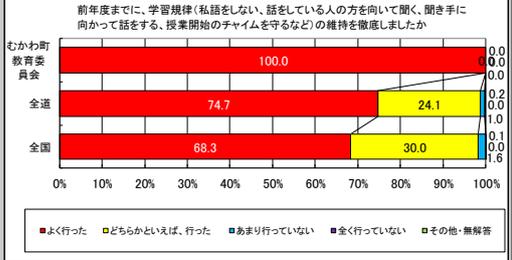
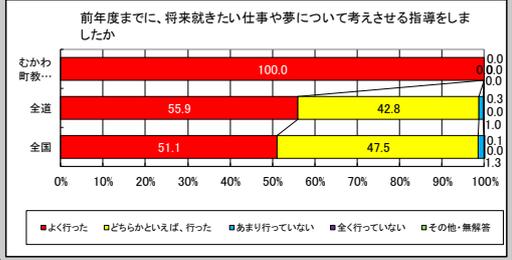
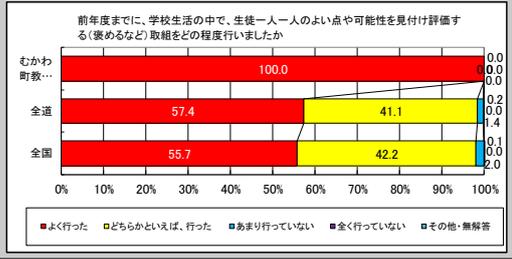


学習指導等

<生徒質問紙>



<学校質問紙>



【考察】

○生徒質問紙の中で、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思うか」と「将来の夢や目標を持っているか」の2つの項目において、全道・全国よりも10%以上高い回答であり、学校における取組の工夫や充実とつながっていると考えられる。

むかわ町の学力向上の取組について

(1) 現在までの取組

むかわ町の取組の特徴は、学校と教育委員会が連携し、次の3つのベクトルから学力向上を図っているところである。

授業改善を中心とした「校内方向のベクトル」

小中連携を中心とした「縦方向のベクトル」

家庭・地域との連携を中心とした「横方向のベクトル」

具体的には、

ア 各学校における学校の実態に応じた学力向上策

※学力向上対策協議会等で情報交流

イ むかわ町教育改善検討委員会を組織し、学力向上対策に取り組んでいる。

事務局：教職員研修会 道外視察（本年度は中止）

学力向上対策関連：学力調査・CRTの考察 学力向上策交流

ステップアップ関連：学習生活規律 小中授業交流 乗り入れ授業・相互参観

家庭学習支援関連：家庭学習に関する手立ての交流 啓発資料

ウ 「家庭学習の手引き」の作成・配布

エ 生活実態アンケートの実施と分析・考察 報告書を全家庭配布

オ 9年間見通した学習生活規律の確立

カ 標準学力検査（CRT）の実施と分析による指導方法の改善

キ 全国学力・学習状況調査および標準学力検査の結果にかかわる分析と公表

ク よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート「hyper-QU」の実施

ケ 学習支援員、補助教員の配置による学習指導の充実への支援

コ 通学合宿等を実施し、学習意欲の向上と理解力を高める学びの環境整備

(2) 今後の取組

現在までの取組を通し、学校・家庭・地域・教育委員会が連携しながら進めてきていることで、少しずつ成果として出始めてきている。特に、27年度頃からは、成果の表れが顕著である。その意味では、適時検討をし、見直し・修正を加えながら、現在までの取組を充実していくことが重要であると考えます。

特に、学校と家庭・地域との連携はますます重要であり、規則正しい生活習慣・学習習慣の定着のため、適切な情報発信による啓発活動に取り組んだり、コミュニティ・スクールにおける学校運営協議会とのかかわりを大切にしたりしていく。

また、新学習指導要領の移行期・完全実施の時期が迫り、各学校が適切な教育課程の編成・実施を行い、学習指導の充実・向上を図っていくことが大切である。